

平成31年 ほくぎん若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名		助成金額
小池 未来	学術研究部社会科学系・講師		500,000 円
研究課題名	CISG における救済の要件と効果に関する研究		
研究の概要	<p>国際物品売買契約に関する国際連合条約(CISG)が適用される国際取引において、売主が適切に契約を履行しない場合、買主にはいくつかの種類の救済手段が与えられるが、その性質、要件及び効果並びに相互の関係については、明確であるとはいえない。</p> <p>そこで、本研究では、(1)海外の事例及び研究を分析し、これらの救済請求権の性質、要件及び効果並びに相互関係について考察した上で、(2)我が国の民事訴訟を前提とした場合にこれがどのように展開されるかを検討することによって、我が国の民事訴訟において CISG における救済の性質をどのように理解し、これを適用すべきであることを明らかにする。</p>		
研究の成果	<p>国内外で収集した資料・情報をもとに、まず、特定の状況に限定した買主の救済手段について検討した。売主が契約に適合しない物品(着用不可能な衣類や仕様書と異なる機械等)を買主に引き渡した場合、売主は CISG の契約適合物品を引き渡す義務に違反したことになるが、その場合、買主には場合に応じて、修補請求、代替品引渡請求、契約解除、代金減額、損害賠償請求が認められる。これらの救済手段について、CISG の基礎にある思想等に基づき、その要件を検討し、整理することで、それらの相互関係を考察した。特に、ともに重大な契約違反を要件とする代替品引渡請求と解除を中心に考察した結果を下記の通り、日本国際経済法学会研究大会で発表した。本研究課題の中心をなすこの研究成果をもとに、CISG における救済手段の体系が整理されることが期待できる。</p>		
研究成果発表状況	<p>【学会発表】</p> <p>小池未来「不適合物品が引き渡された場合における買主の救済についての一考察」日本国際経済法学会第 29 回研究大会(於横浜国立大学)、2019 年 11 月</p>		
経費の執行状況	区分	執行額(円)	備考
	<p>【物品費】</p> <p>文具等購入費 学会等参加費</p> <p>【旅費】</p> <p>学会等参加旅費</p>	<p>1,619 円 56,991 円 441,390 円</p>	